

このたびは、Dominion ユーザーステーションをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。ユーザーステーションは、エンタープライズ向けDominion KVM-over-IPスイッチ (DKX3／DKX4-101) にアクセスできる高性能アプライアンスです。

このクイックセットアップガイドでは、Dominion ユーザーステーションの初期設定についてご説明いたします。詳細につきましては、ラリタンWebサイトのサポートページにて、オンラインヘルプをご参照ください。

<https://www.raritan.com/jp/support/product/dominion-kx-user-station>

### 内容物一覧

- Dominion ユーザーステーション本体
- AC 電源アダプター
- VESA規格対応マウントキット
- クイックセットアップガイド（本紙）

注：ラックマウントする場合、L型ラックマウントキットがオプションとして用意されています。取付手順は、オンラインヘルプをご参照ください。

### 前面図

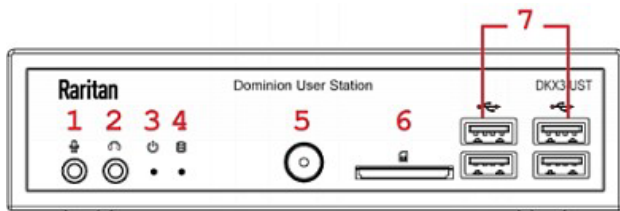
#### DKX4-UST:



#### DKX3-UST Version 2:



#### DKX3-UST Version 1:



1. マイク入力
2. 音声出力
3. 電源LED
4. ディスクアクセスLED
5. 電源ボタン
6. SDカードリーダー（利用不可）
7. USB 2.0/3.1\* ポート

\*DKX4-USTのみ3.1を搭載

### 後面図

#### DKX4-UST:

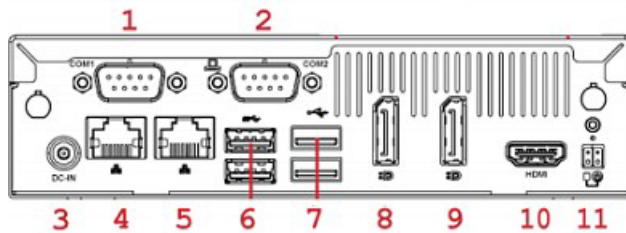


1. RS232/RS422/RS485ポート
2. RS232ポート
3. DC電源入力
4. Gigabit LANポート1
5. Gigabit LANポート2

## DKX3-UST Version 2:



## DKX3-UST Version 1:



6-7.USB 2.0/3.0/3.1\*ポート

\*DKX4-USTは3.1を搭載

\*DKX3-UST/KX3-UST Version 2はUSB 2.0, 3.0を搭載

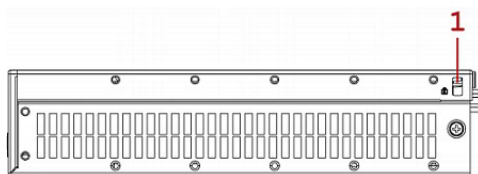
8.DisplayPort (DP) 出力1

9.DisplayPort (DP) 出力2

10.HDMI出力

11.外部電源ボタン用コネクタ (未使用)

## 側面図



1. ケンジントンロック用スロット

## VESA規格対応マウント (Optional)

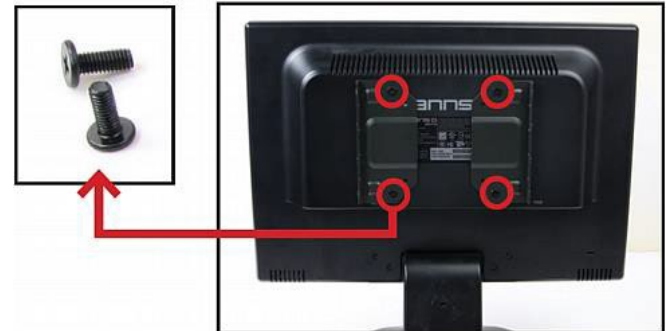
Dominion ユーーステーションは、75もしくは100mm VESA規格のモニター背面に取付可能です。



### ▶ VESA規格対応マウント取付手順

1. 電源を切り、モニターを含む全てのデバイスを電源から取り外します。

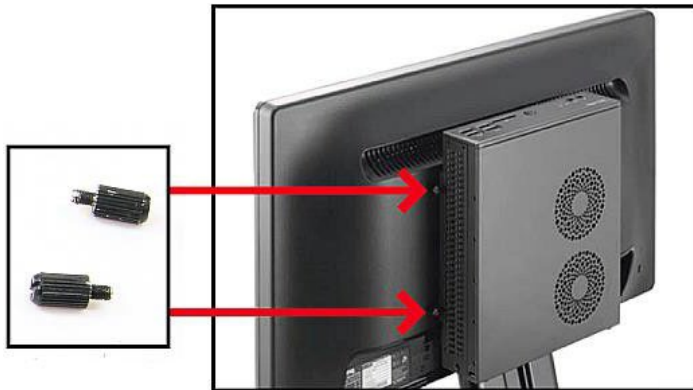
2. 製品添付ネジを4本利用して、VESA規格対応マウントをモニター背面にしっかりと取付します。



3. Dominion ユーーステーションの両側にある2つのネジ穴をVESAマウントのネジ穴と合わせます。



4. 製品添付ネジ4本を使用して固定します。



5. ユーザーステーションがモニターに固定された事を確認します。



## Step 1: 機器の接続

### ▶ 基本的な接続

1. 全てのデバイスの電源をOFFにします。
2. キーボードとマウスを任意のUSBポートに接続します。
3. **オプション:** 必要に応じてマイクとスピーカーを接続します。

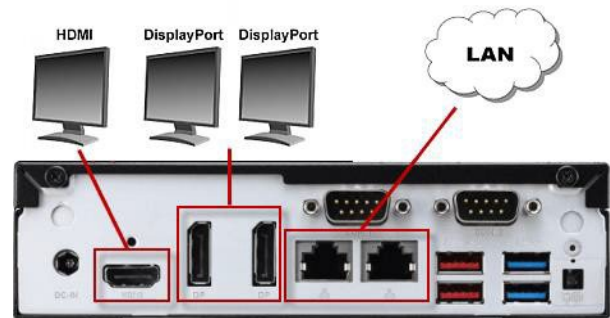


4. リアパネルのLANポートを介してネットワークに接続します。
5. DP/HDMIの映像出力ポートにモニターを接続します。

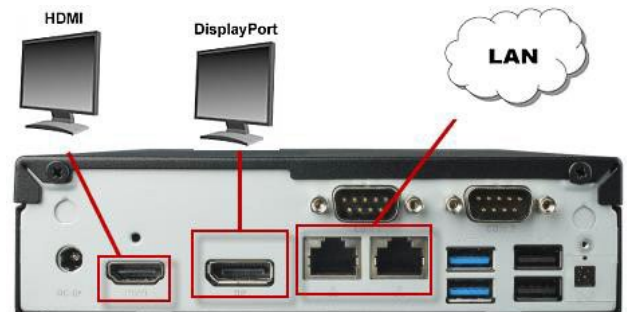
DP/HDMIの各ポートは映像と音声の両方の信号を送信します。  
音声を利用する場合は音声対応モニターが必要となります。

DKX4-USTは3台/DKX3-USTは2台のモニターを接続できます。

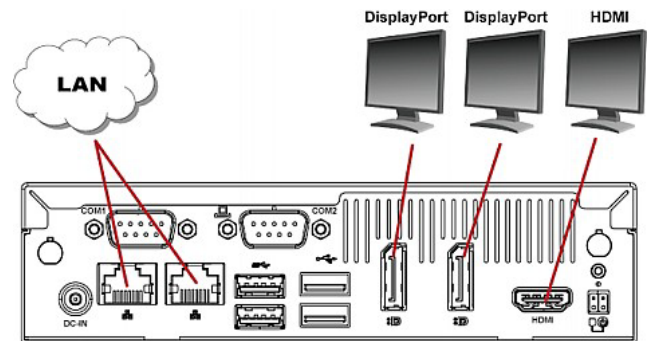
### ▶ DKX4-UST:



### ▶ DKX3-UST Version 2:



### ▶ DKX3-UST Version 1:



6. 全てのデバイスの電源をONにします。

## Step 2: 初期ログイン

工場出荷時に設定されているユーザー名とパスワードを使用してログインします。認証は大文字と小文字が区別されます。

- ▶ Username: admin
- ▶ Password: raritan

最初のログイン時に工場出荷時のパスワード変更が強制されます。パスワード変更の詳細は後述を参考にしてください。



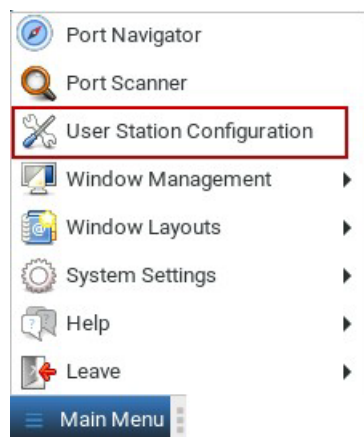
## Step 3: ラリタン・デバイスの追加

静的IPネットワークで利用する場合、先に6ページの「ネットワークの基本設定」にて手動でネットワーク設定をしてください。

CC-SG管理下でない場合、「User Station Configuration」ウィンドウにDKX3/DKX4/DSX2が追加されます。

### ▶ DKX3/DKX4/DSX2の追加

- 「User Station Configuration」を起動します。
  - Ctrl+Alt+C 押下（もしくは下記メニューを実行）
  - Main Menu > User Station Configuration を選択



- Add KX Device をクリックします。
- DKX3/DKX4-101/DSX2の各デバイスの情報を入力。

**Network Address**

The given device will be added to the system-wide database of devices and hence its record can be seen and used by other users.

\* IP Address / Hostname

このフィールドにデバイスのIPアドレスもしくはホスト名を入力します。

**Authentication**

If **Authentication Method** is set to **Normal**, then each user must specify their credentials to gain access to this device.  
If the device and the User Station are using the same authentication service and **Authentication Method** is set accordingly then User Station will try to reuse the credentials provided at its login for accessing this device.

**Method**

Normal  
Allow LDAP single sign-on

認証方法を選択します。

Normal: デバイスのログイン資格情報を入力します。

Allow LDAP single sign-on: ユーザー全てのデバイスがLDAP管理下の場合に利用できます。

**Port Numbers**

Discovery Port  
5000

HTTPS Port  
443

Discovery PortとHTTPS Portは必要に応じて変更可能です。

**User Credentials**

These credentials are used to query for port information of the KX Device.  
The credentials are not shared with other users and hence must be provided by each user individually.

\* Username

\* Password

認証方法として「Normal」を選択した場合、デバイスのログイン情報を入力します。

- 「Save」をクリックします。
- 「All KX Devices to go back」をクリックして一覧に戻ります。更にデバイスを追加する場合は操作を繰り返します。

**重要: 「Allow LDAP Single Sign-on」が有効の場合、LDAPユーザーはログイン情報の入力を省略できます。「Normal」はデバイス毎のユーザー情報がユーザー毎に保存されます。そのため、ユーザーは、任意のデバイスの資格情報を個別に入力/保存する必要があります。**

## Step 4: 「Port Navigator」の使用

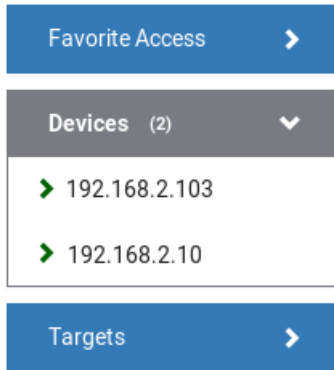
ターゲットやデバイスへのアクセスを「Port Navigator」ウィンドウと以下の以下の3つのパネルが提供します。

- Favorite Access** 利用頻度の高いアクセスリストを提供。
- Devices** 全てのデバイス/ポートを表示。
- Targets** RDP/VNC/Web/ESXiを含むターゲットを表示。

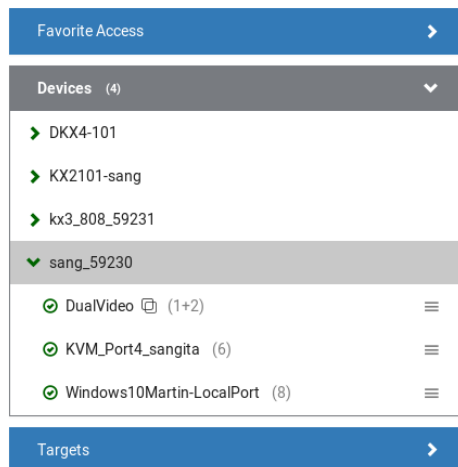
このウィンドウが表示されないときは、**Ctrl+Alt+N** か Main Menu > Port Navigator をクリックしてください。

## ▶ ラリタン・デバイスへのアクセス

1. Devicesパネルからラリタン・デバイスをクリックします。



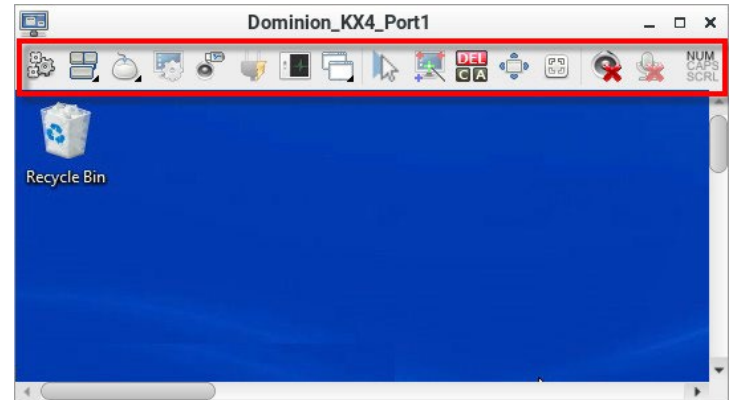
2. 初期状態では、選択したデバイスの下に稼働中のポートのみが一覧表示されます。デュアルポートは、プライマリが稼働中である必要があります。
  - 括弧内の数字はデバイスの物理ポート番号を表します。
  - デュアルポート構成は、プライマリとセカンダリの物理ポート番号を表示しません。



- アクセスしたいポートアイコンをクリックして、表示メニューを選択後、ポートに接続できます。ポート名をクリックして接続することも可能です。右クリックの場合は、ポートメニューから任意の接続方法を選択できます。



## Step 5: KVMクライアントを使用する

ポートにアクセスすると、KVMクライアントのウィンドウが開き、ターゲットサーバーのビデオ出力がKVMクライアントに表示されるので、マウス/キーボードで操作可能です。



アイコン	機能
	<b>Connection Properties:</b> ストリーミングビデオのFPSや解像度を表示し、パフォーマンスを管理します。ほとんどの接続において初期状態で最適化されているため、必要な場合を除き変更をお勧めしません。
	<b>Keyboard:</b> Hot key macroの一覧を表示し、選択したマクロをターゲットサーバーへ送信します。
	<b>Mouse:</b> マウスモードの切替やマウス同期を行ないます。
	<b>Video Settings:</b> video sensingとcolor calibrationを調整します。
	<b>Connect Audio, Mass Storage and SmartCard Devices:</b> 仮想メディアをサポートしているターゲットサーバーに対して、仮想メディア（音声／光学メディア／USBメモリ等）の接続／切断を行ないます。
	<b>Power Operations:</b> PDUが接続されている場合、ターゲットサーバーの電源を制御（Turn On / Turn Off / Cycle）します。



アイコン	機能
	<b>External Device Settings:</b> 外部デバイス（接点等）操作の設定をします。
	<b>View:</b> 表示オプションを設定します。

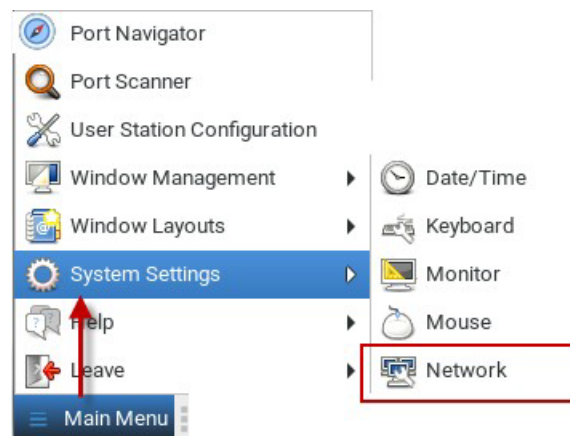
これより右側は、利用頻度の高い機能のショートカットです。

アイコン	機能
	<b>Synchronize Mouse:</b> デュアルマウス利用時のポインタを同期します。
	<b>Auto-sense Video:</b> ビデオ信号を再検出して表示を自動調整します。
	<b>Send Ctrl+Alt+Del:</b> ターゲットサーバーへ <i>Ctrl+Alt+Del</i> を送信します。
	<b>Full-Screen Mode:</b> フルスクリーン表示に変更します。終了する場合は、 <i>Ctrl+Alt+F</i> を押下します。
	<b>Fit window to Target:</b> KVMクライアントのウィンドウサイズをターゲットサーバーのデスクトップサイズに合わせて変更します。
	<b>Mute audio</b> 音声を消音もしくは消音を解除します。
	<b>Mute microphone</b> マイクを消音もしくは消音を解除します。
	<b>Num Caps Scroll:</b> Num Lock, Caps Lock, Scroll の各キーステータスを表示します。有効の場合、太字表示となります。

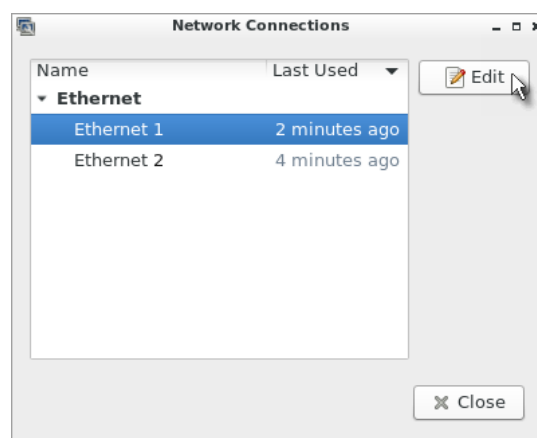
このセクションでは、基本的なネットワーク構成について説明します。詳細につきましては、オンラインヘルプをご参照ください。

## ▶ ネットワークの基本設定

1. Main Menu > System Settings > Network を選択します。



2. ユーザーステーションでは、2つのLANポートに対して、2つのネットワーク接続を設定できます（リダンダント構成には非対応）。設定対象を選択して「Edit」をクリックします。



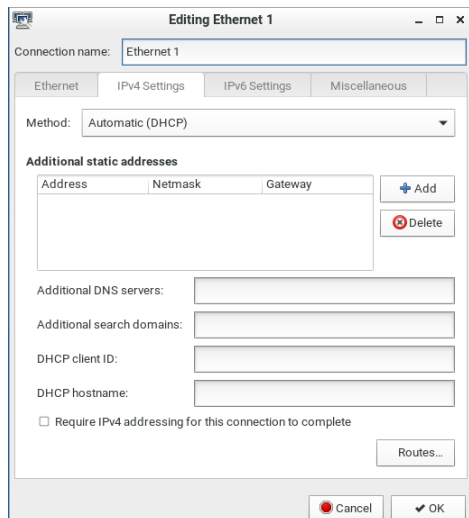
## Step 6: シリアルクライアントを使用する

シリアルターゲットが接続されているデバイスに接続すると、シリアルクライアントウィンドウが表示されます。

## ユーザーステーションのネットワーク設定

初期ネットワーク設定はDHCP (IPv4/IPv6) です。

### 3. 「IPv4 Settings」タブをクリックします。



### 4. 「Method」欄において以下のオプションを選択します。

- *Automatic (DHCP)*: IPアドレスの自動割り当て (初期設定)。
- *Automatic (DHCP) addresses only*: IPアドレスのみ自動的に割り当てます。DNS設定は手動入力が必要です。
- *Manual*: 静的ネットワーク設定を行いません。
- *Disabled*: IPv4設定を無効にします。

### 5. 「OK」をクリックします。

## ログアウト／再起動／シャットダウン

Main Menu > Leave から、ログアウト／再起動／シャットダウンを選択できます。

**警告:** ユーーステーションの機能に問題が発生することがあるので、電源ボタンの長押しや電源コードを抜く事によって、ユーザーステーションの電源を切らないでください。電源ボタンを短く推した場合は、セッションを保存しないでシャットダウンします。

## その他

Raritanの全ての製品については、RaritanのWebサイトをご参照ください。また、技術的なお問合せにつきましては、Raritanテクニカルサポートへお問合せください。日本のテクニカルサポートへの連絡につきましては、RaritanのサポートWeb (<https://www.raritan.com/jp/support>) をご参照ください。

Raritanの製品は、GPLおよびLGPLに基づいてライセンスされたコードを使用しています。オープンソースコードのコピーは、Raritanに要求することが可能です。詳細については、RaritanのWebサイトにあるオープンソースソフトウェアに関する記述をご参照ください。

[Open Source Software Statement]

<http://www.raritan.com/about/legal-statements/open-source-software-statement/>